

これからの 地域活動のポイント



1

地域・まちづくりと地域活動

■ 地域・まちづくりを考える単位は

私たちが暮らす地域・まちのことをどのような広がりから捉えていくとよいのでしょうか？

一般的には、義務教育である小学校での親世代のつながり、子どもの友達関係からのつながりがいわゆる地域デビューとなり、地域の中の人として「自分たちの地域」、「わがまち」を意識する契機となることが多いようです。

小学校区は子どもたちが歩いて通える日常生活圏の広がりであり、いざという時も含めて歩いて暮らせる徒歩圏であり、平塚市では自治・地域活動のまとまりとしての連合自治会にほぼ対応しています。また、社会教育施設である地区公民館も概ね小学校区に1つ配置されています。

そのような特徴を活かし、地区公民館については地域交流、生涯学習の場としての役割から地域活動拠点としての役割がますます高まっていくと考えられます。

1960～70年代に発足した地域活動の各種団体もこのような単位を基本に組織化され、担当役員を中心に各種活動が展開されています。

このような「わがまち意識を共有できる暮らしの基礎的な単位」を意識して、地域の課題やこれからのまちの在り方を考えていくことが大切だと思います。

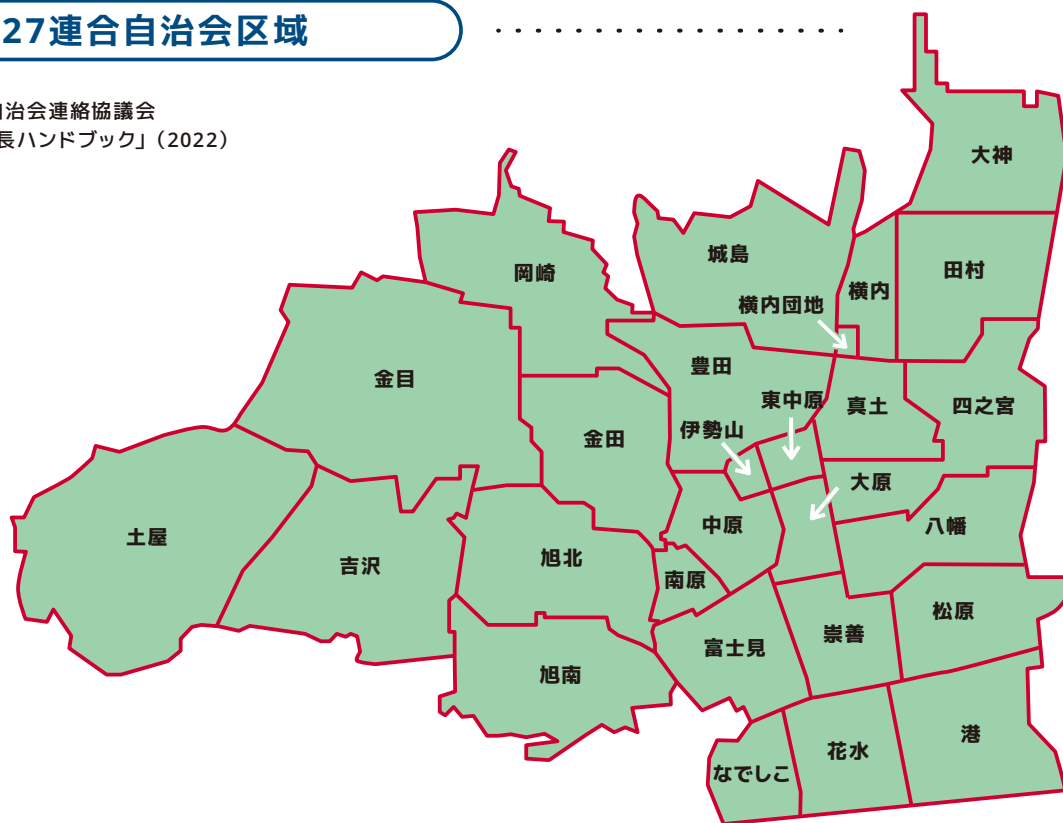
言い換えれば、地域活動団体が連携して協議し、新たな活動や実践の方向を探る場をつくることで、これからの地域・まちづくりを進めていく基盤が整い、共感も高まっていくものと考えます。

わがまちの課題を自分ごととして把握するためには、健康診断のように、「今」と「これから」を知り、目標を持つことがポイントとなります。そのためには調べる（捉える）ことが必要です。またその「調べる」過程においてもまずは身近な小学校区の単位を見つめることが大切です。



27 聯合自治会区域

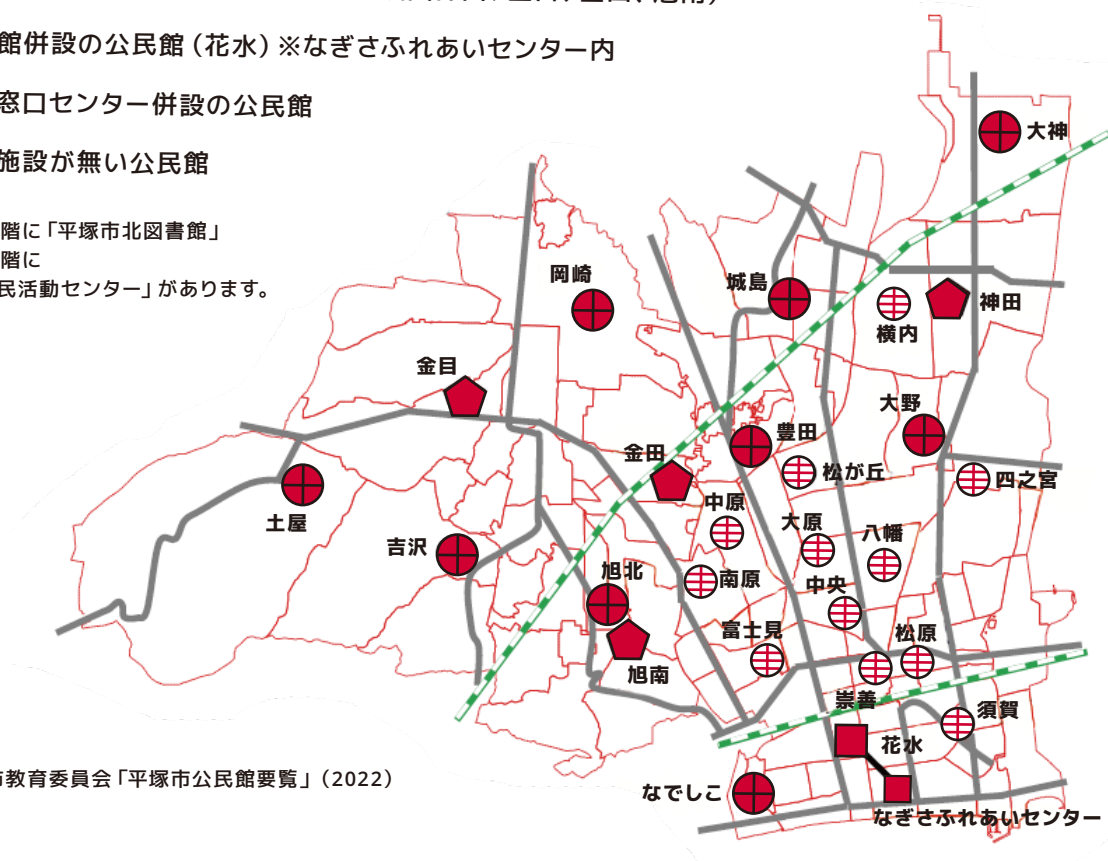
出所：平塚市自治会連絡協議会
「自治会長ハンドブック」（2022）



中央公民館と25地区公民館

- 体育館・市民窓口センター併設の公民館（神田、金目、金田、旭南）
- 体育館併設の公民館（花水）※なぎさふれあいセンター内
- 市民窓口センター併設の公民館
- 上記施設が無い公民館

神田公民館2階に「平塚市北図書館」
崇善公民館2階に
「ひらつか市民活動センター」があります。



出典：平塚市教育委員会「平塚市公民館要覧」（2022）

■ 地域・まちづくりの目標とその実現に向けた地域活動は？

私たちが暮らす地域がどんなまちになるとよいのでしょうか？

人生100年時代といわれるなかで「健康で安心して楽しく暮らしたい、住み続けたい」という願望は多くの
人にあるのではないのでしょうか。しかし、地域によってその環境や歴史は様々です。自分たちが暮らす地
域・まちのことを知り、考えながら**みんなの“想い”を共感できる「目標のことば」**にして共有していくこ
とが大切です。

そしてその目標を達成するための“手段”として「地域活動（地域環境の保全・向上、健康・文化交流、子育
て・福祉の支援、青少年健全育成、防犯・防災など）」の取り組みがあります。これまで地域活動はその
時々の社会環境や地域の人たちのニーズをもとにみんなで企画して運営されてきました。

高度経済成長期に増えていった様々な活動についても、これから人口が減少していく状況では、**目標達成
に照らし合わせて個々の「活動」の意義や関係性（つながり）を再確認しつつ、その内容や支える人たち
のつながりを再検討していく**ことも重要だと考えます。

■ これからの地域活動の仕組みは？

これまでの「地域活動」は自治会をはじめとして、地域活動を推進する各種団体（体育振興会、青少年指導
員、PTAなど）の役員が中心となり、相互に協力し合う体制で取り組まれてきました。

しかしながら、地域全体としての行事や活動、様々な要請なども増加していく一方で、**役員が負う責任や
多くの団体行事への協力など、負担感が増え、役員のなり手も固定化・高齢化するなど、課題が顕在化し
ています。**

一方で、子育てやセカンドライフをきっかけに**“楽しみ”や、“なかまづくり”**などのために地域活動へ参画
する人たちも増えてきています。

今後は、これまでやってきたことをこれまでのようにやるのではなく、一度立ち止まって共感できる目標をどう
掲げ、そこに向けてどんなことを誰と一緒にやっていけるかを考えるための、知恵と工夫が求められています。

そのためには、**これまでの活動の「仕組み」を再考し、楽しく地域活動に取り組める“体制”をいかにつく
るか、関係者が確認しながら進めていく“手順”をいかに整えていくか、そして、幅広い世代が関心を持
ち、参画したいと思ってもらえるためにどのような“方法”を活用するか**がますます重要になってきてい
ると思われます。



地域活動と仕組み

地域・まちづくりの目標（ビジョン）

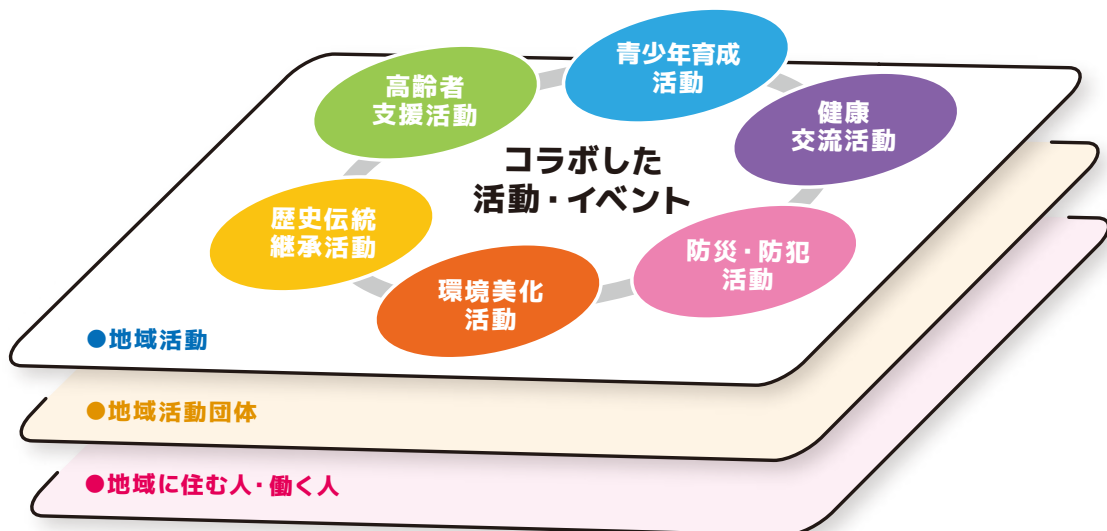
地域の人たちの“想い”をことばに！

健康で安全な暮らし
住み続けたいまち



目標達成のための活動

「活動」のつながり、「団体／人」のつながりで目標達成に向かう！



活動を支える仕組み

知恵と工夫で機動性ある仕組みへ！

